

公益財団法人さんりく基金
令和2年度第1回評議員会 議事録

1 開催の日時及び場所

- (1) 日時 令和2年6月10日(水) 午後1時25分から午後2時20分
- (2) 場所 岩手県盛岡市中央通1-7-35 リージャス盛岡中央通ビジネスセンター

2 評議員の現在数 評議員7名

3 出席者

- (1) 評議員 佐々木 淳

以下の出席者は、Web会議システム「Skype」により参加した。

- 評議員 窪田 優一 (釜石市役所にて)
- 評議員 佐藤 廣昭 (宮古市役所にて)
- 評議員 澤里 充男 (久慈市役所にて)
- 評議員 志田 努 (大船渡市役所にて)
- 評議員 水野 雅裕 (岩手大学事務局にて)

- (2) 役員

業務執行理事	箱石 知義	業務執行理事	上田 幹也
--------	-------	--------	-------

- (3) 事務局

事務局長	箱石 知義	事務局次長	高橋 則仁
総務管理部長	本多 牧人	DMO事業部副部長	立柳 敦
総務管理部副部長	小田島 玄	事務局員	田村 優子
事務局員	川村 泉		

4 欠席者

評議員 橋本 良隆

5 議長

佐々木 淳

6 決議事項

- 第1号議案 令和元年度事業報告及び附属明細書の承認について
- 第2号議案 令和元年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び財産目録の承認について
- 第3号議案 令和2年度事業計画の変更及び収支予算(補正第2号)の承認について

7 議事の経過

午後1時25分開会した。

冒頭、Web会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、議事を開始した。箱石業務執行理事が、評議員現在数7名中本人出席6名により定款第20条に定める定足数を満たしており、本評議員会は成立した旨を告げた。

また、本年3月の高評議員の退任により、副議長が空席であることから副議長を選出することとし、佐々木評議員が選出された。なお、議長である橋本評議員が本日欠席であることから、副議長の佐々木評議員が本日の議長として議事進行を進めることとなった。以降の進行は、佐々木議長により進められた。

なお、議事録署名人について、議長一任とされたので、議長は佐藤評議員と澤里評議員の2名を指名した。

報告 「職務執行の状況について」

箱石業務執行理事が執行状況を報告した。

議長が、報告について質問、意見を求めた。

【佐藤評議員】

助成事業の審査委員会の審査委員はどういった方々か。

【高橋事務局次長】

助成事業ごとに審査委員会を設置している。

調査研究事業は、5名に審査委員をお願いしており、岩手県立大学宮古短期大学部長、岩手大学教授、北里大学教授、工業技術センター理事、県政策企画課政策課長である。

新商品・新サービス開発事業は、県商工会議所連合会及び県商工会連合会部長、産業振興センター産業振興部長、さんりく基金観光プロデューサーの4名である。

コミュニティ活動・人材育成事業は、岩手県立大学研究・地域連携室長、岩手大学三陸復興・地域創生推進機構研究・地域連携部長、県若者女性協働推進室特命参事、県地域振興室地域企画監の4名である。

イベント開催事業は、県観光協会専務理事、沿岸局経営企画部企画推進課長、さんりく基金の顧問アドバイザーの3名である。

その他特に発言はなく、直ちに議案の審議に入った。

第1号議案「令和元年度事業報告及び附属明細書の承認について」

第2号議案「令和元年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について」

議長は第1号議案と第2号議案について関連があるとし、事務局に一括して説明を求め、高橋事務局次長が説明した。

議長が、第1号議案、第2号議案について一括して質問、意見を求めたが、特に発言はなく、第1号議案及び第2号議案の賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

第3号議案「令和2年度事業計画の変更及び収支予算（補正第2号）の承認について」

議長は、第3号議案について事務局に説明を求め、高橋事務局次長が説明した。

議長が、第3号議案について質問、意見を求めた。

【窪田評議員】

ご提示の予算案は、このとおり承知した。昨年度は三陸防災復興プロジェクトということで、三陸沿岸部全体をご支援いただくような通常とは異なる事業を作っていた。このご時世でコロナの関係で事業者さんが苦しんでいて、前向きな取組としてさんりく基金を使おうとし、通常通りの申請をしてもなかなかうまくいかないことも現状あると思う。可能であれば、今年度の案でコロナ収束した後に、事業者が経済の収縮に対して立ち向かうようなメニューがあればいいと思う。そういったところを検討いただきたい。経済産業省で生産性向上推進事業という形で持続化補助金や IT 拡張補助金があるが、上限や下限があったり、補助率満額じゃなかったり、計画作成に時間がかかって申請数が伸びないという面もある。こういったところをさんりく基金で上乗せをするなどコロナ対応の事業も考えていただければいい。

【高橋事務局次長】

事業の全体の期間を考えた場合、これから事業を募集して実施するとなると、残りの期間で難しい部分もある。本年度に限らず、来年度に向けてコロナの対策で不足する部分など情報をキャッチして、対応できる部分があれば必要な事業を検討してまいりたい。

【窪田評議員】

もちろん今年度に全ての対応とは考えてはいないが、今回のように年度の途中で補正もできるのであれば、短期的にやるもの、中期的にやるもの、長期的にやるものがあると思うので、年度内に考えるべきものは考えていただいて、来年度にこだわらず検討して頂きたい。

議長が、他に質問、意見を求めたが、特に発言はなく、第3号議案の賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

その他「公益財団法人さんりく基金の観光地域づくり法人（日本版 DMO）への本登録について」

議長はその他事項について説明を求め、上田業務執行理事が説明した。

議長が質問、意見を求めた。

【窪田評議員】

日本版 DMO 法人の登録は素晴らしいことだと思う。当市については、かまいし DMC を持っていて、私も役員になっている。宮古市さんもそうだが、市町村の DMC としての立場からの意見として申し上げる。かまいし DMC は、仙台の東北観光推進機構の DMO との連携はしているが、三陸 DMO との連携がまだまだと感じている。岩手県沿岸で様々なデータ分析や人の流れの調査をしているが、結果が市町村の DMC においてきていない。マーケティングとマネジメントの部分を一層力を入れていただき、各市町村の DMO や DMC と連携いただきたい。

【上田業務執行理事】

非常に重要なことで、貴重なご意見ありがたい。特に今の状況として、新型コロナの影響で観光業が非常に厳しい。そういった中でも観光の地域づくりが重要で、それを引っ張っていく存在としてDMOが中心となっていく。地域のDMOやDMCと連携してすすめていきたい。

最後に、議長が、コロナ対策や地域振興策について、県への要望も含め皆様に意見を求めた。

【窪田評議員】

釜石市では昨日沿岸広域振興局に対して要望を提出したところ。これまで県から情報提供していただいて、コロナ対策第3弾として色々動いていただいているありがたい限り。

一方で、景気対策については県内の宿泊、間口を開放するような形にはまだなっていない。第3弾より後については、景気対策を含めながら進めていただきたい。さんりく基金や各市町村の動きも考慮にいれながら、進めていただきたい。

【佐藤評議員】

宮古市では、感染対策と経済雇用対策の2つの対策をとった。特に経済雇用対策は比較的県内市町村では早めに手を打った方ではないか。事業者や一人親家庭の対策等色々な策を講じているが、我々がまだまだ知らない策もあるのではないか。主には毎日の新聞が情報源になるが、県で様々な施策をとりまとめて各市町村へ流すということをやっていただきたい。当市ではどういう対策が不足しているのか理解できる。色々な対策の一環として情報提供をしっかりとっていただきたい。

【澤里評議員】

久慈市では特にも観光・ホテル関係が非常に大きな影響を受けている。観光はすぐには復活が難しいのではないか。久慈市においては、誘客を図るための例年の海女の実演を自粛する方向になっている。他との連携が非常に大事になってくるので、情報提供をよろしくお願ひしたい。

市としても3回の臨時議会を開いて、経済対策を措置した。これから6月議会や7月にも臨時議会を開催予定で、今こういった対策が取れるか研究をしているところ。各市の状況を参考にしながら、久慈市独自のものをと考へて実施している。ご指導等についてもよろしくお願ひしたい。

【志田評議員】

現在市内の状況について取りまとめをしている最中。事業者の方々中心に生活が苦しい方が多くいるので、新たな施策が出てくれば、県の施策に上乘せしたり、市単独の事業をするということで、何とか手を打っていきたい。皆様と同様、情報共有をしっかりとお願いしたい。

【水野評議員】

新型コロナウイルスの感染が拡大して、大学もすっかり変わった。5月の初旬からウ

ェブ授業を行っており、8月中旬まで続く予定。1年生の顔がしっかり見れていないのが非常に残念。通信技術のすごさを改めて感じ、ここ2、3カ月で様々大きく変わった。大学の教育の在り方も変わっていくのではないかと感じている。学生たちの中にはフィールドワークで沿岸地域と関わっている者がいるが、その活動がストップしている。一段落したら足を運んで、沿岸地域で活動してほしいと考えている。岩手大学と沿岸地域は多少離れているが、ネットワーク技術を活用しながら、より深く関わっていきたいと思っているのでよろしくをお願いしたい。

以上をもって議事の全部の審議及び報告等が終了したので、議長は午後2時20分閉会を宣し、散会した。本日のWeb会議システムを用いた評議員会は、終始異状なく議題の審議を終了した。